

# 平成27年深谷市教育委員会第5回定例会会議録

深谷市教育委員会

## 平成27年深谷市教育委員会第5回定例会

日 時	平成27年5月12日(火)
	開 会 午後1時30分
	閉 会 午後2時30分
場 所	教育委員会 3階 大会議室
出席委員	教 育 長 小 柳 光 春 教育長職務代理者 柿 沼 敬 一 委 員 井 上 美佐子 委 員 清 水 巖 委 員 橋 本 幾 子
出席職員	教 育 部 長 澤 出 晃 越 次 長 植 竹 敏 夫 次 長 片 桐 雅 之 教 育 総 務 課 長 葦 塚 洋 明 教 育 施 設 課 長 吉 田 稔 学 校 教 育 課 長 島 崎 祐 子 生涯学習スポーツ 岡 田 真 振 興 課 長 文 化 振 興 課 長 鳥 羽 政 之 渋 沢 栄 一 記 念 館 長 坂 倉 茂 図 書 館 長 島 田 久 一
書 記	教 育 総 務 課 加 藤 昇 課 長 補 佐

## 1 開会

教育長が開会を宣告

## 2 前回会議録の承認

第4回定例会の会議録を全員異議なく承認

## 3 会議録署名委員の指名

教育長が清水委員を指名

## 4 会議の概要

### (1) 会議

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について  
教育総務課長より説明
- ② 報告2 専決処理の報告について  
教育施設課長より説明
- ③ 報告3 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査について  
学校教育課長より説明
- ④ 報告4 平成27年度全国学力・学習状況調査について  
学校教育課長より説明
- ⑤ 報告5 教科用図書の採択事務に係る進捗状況について  
学校教育課長より説明
- ⑥ 報告6 英語王国について  
学校教育課長より説明
- ⑦ 報告7 中学生補修学習事業について  
学校教育課長より説明
- ⑧ 報告8 深谷市教育委員会だより「こころざし第22号」(平成27年5月発行)について  
片桐次長より説明
- ⑨ 報告9 平成27年4月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】  
片桐次長より説明
- ⑩ 議案第31号 深谷市社会教育委員の委嘱について【非公開】  
生涯学習スポーツ振興課長より説明
- ⑪ 議案第32号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】  
教育総務課長より説明

発言の要旨

① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について  
教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

② 報告2 専決処理の報告について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

③ 報告3 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 6ページの「調査結果の聞き取り状況」のなかに「国語は、どの学年も問題が多く、時間が足りなかった。特に文章問題が難しかった。」と状況が出ていますが、これは作問量に問題があったのか、又は児童生徒の現段階での理解力・読解力の不足から読み取りが遅くなっているのか、その辺の状況はいかがでしょうか。

教 育 長 国語の問題で時間が足りなかった、あるいは難しかったとありますが、そのことについての見解はどうでしょうか、というご質問です。

学校教育課長 まだ調査の結果については詳しく示されていませんので、各学校の感想から推察しますと、やはり文章題の長さや量が、以前よりは若干多かったのでこういった聞き取り結果が出てきたのではないかと捉えております。

教 育 長 作問量といいますか、読み取る情報が多かったということですか。

井 上 委 員 量的には多くなっているということですか。

学校教育課長 この後、全国学力・学習状況調査のところでもお話ししますが、長い文章の中から考えを読み取って、またそれを文章で答えるという傾向の問題が全国でも埼玉県でも増えております。また文科省がそういう力を、言語力を身につけるということを意図しておりますので、各学校でもそれに対応できる力を付けていかなければいけないと考えています。

井上委員 問題の中身というよりも、今の児童生徒の読解力はかなり落ちてきていると思います。読解して問題の中身を理解するという力について、この後の全国学力・学習状況調査のところでもお聞きしますが、その辺をもう少し丁寧に見ていただけるとありがたいなと思います。

教育長 新しく始まった調査なので色々と課題は多いということなんです。若干補足しますと、先ほど課長が説明したとおり、問題は全部回収されています。学校や教育委員会に置かないという約束で始まったことですから、今、手元に無いんですね。問題が確認ができないので難しい点がありますが、よろしくお願いします。

④ 報告4 平成27年度全国学力・学習状況調査について

教育長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教育長 本報告について、質疑はありませんか。

井上委員 11ページのところです。24年度は学力項目で国・県平均を下回ることが多かったので、それに対する改善として「深谷市チャレンジ」をモデル校で実施し、宿題を活用した授業を実施しました。その結果、25年度は、正答率かなり上がってきました。そこに、「深谷市チャレンジ」を全校で実施し、B問題を活用した授業を実践しています。そして26年度には、さらに深谷市のレベルがアップしています。

そうした中で、27年度の結果がこれから出てくるわけですが、小学校の算数B問題のなかで「今月の値段」に子ども達が気づいて解決できるか、という点と、小学校の国語B問題のなかの「もうよい。わしの負けじゃ。」と言うのにどのような表現をしたらよいかということに、子ども達がどれだけ関心を持って答えられるか、という点が重要だと思います。

今後、教師の指導改善にあたるかと思いますが、アクティブラーニング、課題解決学習が要求されてくると思います。

加えて、黒板の端に今日の学習の目標を書いて授業を行い最終的なまとめを示し、最後に学習の目標とまとめをきちっとノートに書いて、毎時間毎時間積み上げることが必要になってくると思います。そういった知識を知恵に変えていく授業方法を採っていかない限り、今後、児童生徒に要求されているような学力は付かないと思います。その辺を教育委員会として、各学校の教職員にどのように伝え、また、管理職を通して授業改善に臨むのにどのような方策を採っていくか、その辺の各校に浸透させる方法が分かりましたら、後ほどでも結構ですので、お聞きしたいと思います。また、そのような課題を持って27

年度の解決にあたっていけば、さらに学力が伸びると思いますので、お願いしたいと思います。

教 育 長

今の質問は、24年度から調査結果を踏まえて改善を行い、そのサイクルを繰り返してきて、27年度を終わってみて、ここに今後の方針が3点ありますが、こうしたことで、新しい学力観をどう育ていけるか、これで大丈夫なのか、あるいは他にさらに方策を考えるべきかどうか等々、何かありましたらお願いします。

学校教育課長

委員がおっしゃるように教員の授業観をしっかりとアクティブラーニングの方に切り替えて授業改善を図ることが第一かと考えております。今月末から学校訪問等が始まりますので、深谷市のスタンダードを示して、授業を見て指導していくことをまず考えております。

また、ここにお示しましたように活用力を測るような問題になっておりますので、過日各小・中学校に、算数・数学の活用力を伸ばすようなプリント冊子を配布し、それをプリントボックスに設置して学習を進める取組を行っています。

また、市内の中学校で、授業と連携した家庭学習で成果を上げている学校がありますので、その成果について全小・中学校に周知して、特に中学校において家庭学習をさらに充実していくということを現在進めております。その他につきまして随時報告させていただきます。

井 上 委 員

あと1点お願いします。小学校では朗読を徹底させていますよね。中学校では、全中学校においてそういったような取組をしていますか。

教 育 長

今の井上委員の御質問は、暗唱だとか、詩の朗読だとか、俳句だとか、論語だとか、そうしたことについて、小学校では熱心だけれども中学校の実態は、ということでしょうか。

学校教育課長

小学校に比べますと中学校では暗唱とか朗読とかは低調かなと感じます。ただ、最近では言語力が大きくクローズアップされましたので、教科書の音読などは意識的に声を出して発表するという取組が各学校で見られます。また、声を出すということでは、音楽の歌唱ですとか、国語の劇の朗読など授業の中の活動は見られます。

井 上 委 員

全市、全校、全中学で同じような取組というのは、やっていないということですね。

学校教育課長

そうです。

教 育 長

小学校では熱心ですけれども、中学校では若干の取組を行っていますね。2年前位のデータがあったので、分かりましたら次回お願いします。それから、いま事務局の方で用意した、11ページ下の授業スタンダードですが、これは案ですか？これについても説明できましたらお願いします。

学校教育課長　これは授業スタンダードということで、ただいま学校教育課の中で策定を進めていまして、各学校を訪問した際に、これらが出来ているかどうかを確認して、全市でこれらに取り組んで行きたいと考えているものです。案ですが今月末までに策定して活用して行きたいと考えています。

教　育　長　この深谷市授業スタンダードを学校訪問の折に示して、これを啓発していくということによろしいですか。

片　桐　次　長　補足になるかと思いますが、井上委員さんにご指摘いただいた学力向上については、校長会や、校長の目標シートに入れてもらうなど大命題として取り組んでいただいています。

この授業スタンダードは案段階ですが、例えば、1の「本時の目標を明確に示しましょう」とありますが、具体的にどのようにやれば明確になっていくのかというのは、まだ見えていません。学校訪問等で具体的な事例を拾いながら、よい授業、分かる授業というのはどのような授業なのかということ、学校教育課で取りまとめながら進めて行きたいと考えています。

2本立てとしては、やはり家庭学習をどう充実させるかということになりますが、授業で学んだことが家庭学習の中に活かされていくといった方法も重ね合わせながら学力向上を図っていきたいと思っております。

ですからスタンダードといってもまだポイントだけです。これをさらに膨らませて肉付けしたものを、各学校の実例を捉えながら示して行きたいと思えます。当然、示しただけではなく、それを実際に学んで自分の中に吸収していくことで教師一人一人の力になりますので、それを各学校で校内研修、学年打合せ、教材研究等で使っていただきながら、よりよい授業を構築していこうと考えているところです。そういった地道な取組の中で学力向上を一步でも図れればと考えております。

井　上　委　員　この中身は、すごく素晴らしいので早期の実施に向けてやっていただければありがたいと思えます。また、本時の目標は、それほど大々的に掲げなくてよいと思えます。例えば、今日はこの物語の段落をきちっとしようとか、最後に自分でちゃんと段落ができたか自己反省をすとか、そういった段階の積み上げで子どもに力が付いてくるものだと思います。まあ、教材研究のなかで、どのような目標を掲げるかは教師側にあると思えますが、子どもに分かる目標で、しかもその目標は自分自身で達成できたか反省できるものがよいと思えます。毎時間の各教科の反省が積み上がっていくものだと思いますので、ぜひ早期の実施をよろしくお願いします。

教　育　長　今、井上委員から指摘がありました。これは授業スタンダード（案）ですので、（案）を消すために、学校の先生方の意見

を取り入れたりするのかどうか、そうしたことも含めて詰めて  
いって下さい。

もう1点、私の方から補足します。メモがありました。おと  
としの中学校での取組状況です。俳句が2校、論語の暗唱が1  
校、詩の朗読が4校、百人一首が1校です。程度には差がある  
と思いますが、若干取り組んでいるという状況です。後で詳し  
いデータがありましたら、報告いたします。

井上委員 参考までに、中学校の時に全校で取り組んだことで、高校・  
大学でもの凄く役立つものがありました。全校放送を通して  
3分間文章を書くんです。そのなかで、点、丸、漢字を入れて  
いくということを週に1回ずつやりました。これで、書く力が  
付きました。ですので、そういった方法もあればいいかなと思  
います。

教育長 子どもの暗唱を楽しむ会など色々やっていますので、それを  
具体的な学力にどう結び付けるかというご指摘でしたので、後  
でまた積極的に受け止めて改善をお願いします。

⑤ 報告5 教科用図書の採択事務に係る進捗状況について

教育長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教育長 本報告について、質疑はありませんか。

教育長 沢山あるので少しずつになると思いますが、今日帰りにお  
持ち帰りください。

(質疑なし)

⑥ 報告6 英語王国について

教育長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教育長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑦ 報告7 中学生補修学習事業について

教育長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教育長 本報告について、質疑はありませんか。

井上委員 2点お尋ねします。1点目は、中学校の全生徒のうち何パ  
ーセント位が生活困窮家庭に該当するのですか。



2点目ですが、このような状況のなかでも埋もれた才能を持っている生徒がいると思います。その子達のためにも公平で質の高い教育を受けさせる支援として素晴らしい企画だと思えますが、昨年度は中学3年生が対象ということですが、中学3年生のうちどの位の生徒がここに参加していたのか分かればお願いいたします。

教 育 長

2点ご質問がありました。1点目は、生活困窮家庭を中心に、対象とする生徒は何パーセント位を想定しているのか。2点目は、昨年度の参加の実績ですね。その辺をお願いします。

学校教育課長

まず、要保護家庭の生徒に、このステップアップレッスンを受けていただけるように取り計らっていく訳ですが、要保護の生徒は市内で29名と確認しています。また、準要保護の生徒は455名と確認しております。そして、その子達に補習を受けて欲しいわけですが、あなたの家はこうだからというようなことを学校から言うのは不具合が起きますので、学校教育課からではなく、生活福祉課のほうから、ステップアップレッスンがあるのでぜひ参加してくださいという旨の通知を出していただくようにしています。

各学校で4月から2人目の学校支援員の配置が行われましたが、各10校のなかですでにスタートしているのは藤沢中学校だけでして、この後、新たなステップアップレッスンを始めていきますので、その内の何名が参加しているかという情報は現在のところございません。ただ申込制になっておりまして、全生徒にステップアップレッスンに参加しませんかという通知を出します。そして参加者の名簿を作りますので、生活困窮者の生徒がどれくらいステップアップレッスンに参加しているかは、1学期の終わりに精査して報告する予定です。

また、中学校は部活動が盛んで、生活の中心に部活動があると言っても過言ではないのですが、部活動と放課後の補修学習の両立がし難いという点がありますので、昨年度は、主は部活動が終了した中学3年生が参加しているというのが現状でございます。学校によっては、例えば、深谷中学校や藤沢中学校につきましては、昨年度からすでに中学1年生や2年生もステップアップレッスンに参加しています。ですから、学年において参加率はどの程度かということについては、昨年度のデータはありますが、今年度はこれからになりますので、名簿を作成して成果を把握しながら、出来るだけ全学年に広がっていくように、進行管理をしながらさらに進めて行きたいと思えます。

片 桐 次 長

補足になります。平成26年度の数字がいま手元になく申し訳ないのですが、24年度、25年度の様子を見ますと、市内の全10中学校の3年生の約2割がこのステップアップレッスンに参加しています。今年はもう少し増やしたいなと思ってい

ますので、数字は上がると思います。そのうち塾に通っていない生徒が約半分位です。今年は1、2年生も入りますので、この数値が変化すると思いますが、何としても部活と両立させながら実施をしていきたいと考えています。

- ⑧ 報告8 深谷市教育委員会だより「こころざし第22号」（平成27年5月発行）について  
教 育 長 事務局より説明を求めます。  
片 桐 次 長 （概要を説明）  
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。  
(質疑なし)
  
- ⑨ 報告9 平成27年4月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】  
【非公開案件につき内容は省略】
  
- ⑩ 議案第31号 深谷市社会教育委員の委嘱について【非公開】  
【非公開案件につき内容は省略】
  
- ⑪ 議案第32号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】  
【非公開案件につき内容は省略】

教育長 本日の議事はすべて終了いたしました。

次回第6回定例会は、6月9日（火）午後3時開会です。

以上で、平成27年深谷市教育委員会第5回定例会を閉会します。